事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	14人	1人		18人

前回の改善計画
・フロアの見守りなどで昼のミーティングに参加できなかった職員へは当日のリーダーが情報の伝達・確認を行ってるが、リーダーに限らず参加した職員全員で伝達し周知していく様にする。 又、日報(申し送り)にサインのない職員には再度声掛けを行い情報の確認をする様に指導して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
・フロアの見守りなどで昼のミーティングに参加できなかった職員へは当日のリーダーに限らず参加した職員がミーティング終了後に情報の伝達を行っている。休みあけの職員は業務に入る前に日報(申し送り)に目を通し情報集している。内容が不明瞭なものは他職員へ再確認するようにしている。日報にサインがあるか業務改善の係の職員が都度確認しサインをしていない職員に対し声掛けし情報の確認を促している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	8人	9人	1人		18人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3人	15人			18人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4人	14人			18人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2人	16人			18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については利用開始前にミーティングや職員会議・アセスメントを活用し情報収集をしている。不明な点は管理者へ確認し再度情報を深く掘り下げ、密な情報を得られるようにしている。 ②、④については送迎時や日々の関わりから本人や家族のニーズを把握している。要望等があれば確認し対応の仕方を検討しより良い関係づくりに繋げている。 ③については馴染みのある話をするなどリラックスしてもらえるよう心がけている。席の配慮をしたりレクへの参加を促し集団に少しでも早く馴染めるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・昼のミーティングに参加した職員が当日フロアの見守り等で参加が出来なかった職員へ情報の伝達を行っているが、参加できなかった職員からの働きかけが消極的な時がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・継続し昼のミーティングに参加した職員が情報の伝達を行っていくと共に、当日ミーティングに参加出来なかった職員へその都度情報の確認をしたか声掛けし自ら情報収集していくよう習慣づけていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	11人	4人		18人

前回の改善計画

・継続し、センター方式を活用し日々の関わりから本人の目標や「～したい」を把握できるようにする。
　本人や家族からの情報だけでなく小さな変化も毎日のミーティングや職員会議にて全職員で情報共有して行く。
・介護記録にフローシートが個々に入っている為(短期・長期目標、援助内容が書いたもの)記録を取る際には
　内容を確認しそれに沿った記録をすると共に各利用者の目標などの把握をして行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

・センター方式を継続して活用し、本人が何をしたいのか・何を訴えたいのかを汲み取る様に努めた。対応する事で
　変化などがあれば職員間で都度情報を共有し次の対応に活かしている。
・各利用者の介護記録にフローシートが入っており(短期・長期目標、援助内容が書いたもの)利用日に、援助内容に
　対し出来ているか・出来なかったのかを記入している。その際に目標の再確認及び把握をし記録を取るようにして
　いるが全利用者となるとまだ把握が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2人	11人	5人		18人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2人	12人	4人		18人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2人	12人	4人		18人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3人	12人	3人		18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①、②、③についてはセンター方式を活用し、各利用者の～したいや生活歴などを再確認する事が出来ている。日々の関わりの中から得た情報は随時追加記入し、情報共有している。表情や言動など些細な変化から本人の想いを探るよにし対応に活かしている。
④については、いつもと違う言動など気になった事があれば関わった職員が昼のミーティングや職員会議にて情報提供し、本人に合った支援が出来るよう話し合い工夫をしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・職員1名に対し利用者2～3名を担当としセンター方式を作成している。各職員が担当利用者の目標などを把握できて
　もそれを全職員が周知し活用するまでには至っていない。
・日々の関わりでの気づきなどは職員間で共有し、介護記録や日報(申し送り)に記入をするようにしているが
　時間に追われその時の出来事を記録に記入するだけになってしまい各目標に沿った記録が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・1ヵ月に2～3名の利用者を決め、各利用者の個人ファイルに入っているアセスメントシート・センター方式などに
　目を通し、情報の再確認と把握をしていく。チェック表を作成し実施したらサインをするようにしていく。
・当日リーダーの役割がついている職員が主に介護記録の記入・確認をする事が多いため、リーダー職員が各職員へ
　業務の指示を出し特定の職員だけでなく当日出勤全職員で記録の記入に携わり余裕を持つことで各利用者の
　目標に沿った記録をしていくようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
３．　日常生活の支援	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	10人	5人		18人

前回の改善計画
・今後も家族と会う機会がある時には今までの生活歴など詳しく情報収集するようにし、本人からの情報が得られにくくても日々の関わりの中から想いを探り対応に活かして行く。 又、家族への報告を行う時にも新たな情報を得る努力をして行く。
前回の改善計画に対する取組み結果
・送迎時や受診時など家族と会う機会がある時は家での様子や体調の変化はないか、連絡帳も活用し情報収集をしている。又、利用者の発言や行動の奥にある心理状態を探りより良い支援ができるように努めている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2人	10人	5人	1人	18人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7人	10人	1人		18人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4人	10人	4人		18人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7人	11人			18人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	4人	11人	3人		18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①個別のアセスメントシートや本人・家族からの情報・センター方式の活用にて把握をしている。 ②については健康チェック表を活用し各利用者の食事量・水分量・排泄を記入し職員が把握出来るようにしている。 食事は本人の状態に合わせて形態や量、食器の種類なども個別に工夫し対応をしている。排泄については排泄パターンを把握し適宜トイレ誘導を行っている。日々状態変化があるがその都度職員間で話し合い、対応の仕方を変更してみるなど工夫をしている。 ③、④、⑤については利用者の日々の状態を観察し、行動など些細な変化に気づいた時は昼のミーティングや職員会議にて情報共有し、その人に合った支援を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症の進行により、本人からの情報が不明瞭な時がある。その時の状態によって利用者の気持ちや訴えも日々変化する為、情報収集が難しく感じる時がある。 又、家族と疎遠であったり遠方に住んでいる方においては会う機会が少なく得られる情報が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・継続し、送迎時や受診時・電話など家族と話す機会がある時は新たな情報を得られる様、こちらから声掛けをし些細な事柄でも情報収集するようにする。又、センター方式を更に活用し本人や家族から密な情報収集をし各利用者を知り、理解を深める努力をして行く。 認知症などから本人からの正確な情報が得られにくくても、表情や行動など細かな変化も日々のミーティングや職員会議にて職員間で共有、対応方法を検討しケアや支援に繋げて行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	13人	4人		18人

前回の改善計画
・継続し送迎時や面会時には家族からこれまでの生活歴や事業所の接していない時の様子など細かな情報収集をし本人と地域との関わりを把握できるようにして行く。 又、得た情報はその都度毎日のミーティングや職員会議にて職員間で共有し周知して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
・利用日でない日の過ごし方など、職員が接していない時の情報は送迎時や連絡帳を活用し情報収集をしている。 いつもと違う行動や変化など情報を得た時は都度ミーティングや職員会議にて伝達し共有がなされている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2人	12人	4人		18人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人	12人	3人	2人	18人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1人	7人	7人	3人	18人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1人	6人	6人	5人	18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①、③についてはセンター方式の活用や本人との日々の関わりから理解するようにしている。事業所が接していない時の様子・一日の過ごし方等は送迎時や連絡帳を活用し本人や家族から更に掘り下げた情報を得られる様に心がけている。又、得た情報はその都度ミーティングにて伝達し情報共有をしている。 ②についてはかかりつけ医への受診や、レクリエーションにて馴染みの場所へドライブに行くなど地域との関わりが切れない様にしている。地域の行事など利用者と一緒に参加する事が出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症の進行により、本人から正確な情報が得られにくい。家族からも情報収集するように努めているが遠方であったり関わる機会が少ないと情報収集が難しい。 ・各利用者の居住地区の情報を得る機会が少なく、民生委員や地域資源の把握には至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・今後も送迎時や受診時・電話など家族と話す機会がある時はこちらから声掛けをして行く。生活スタイル等更に詳しい情報収集を行い各利用者の地域との関わり、居住地区の地域資源などの把握をして行く。 認知症の進行から本人から正確な情報が得られにくくても、日々の関わりや言動などから何を訴えたいのか想いを探り、理解を深めて行く。又、その都度毎日のミーティングや職員会議にて情報を共有・周知して行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	4人	8人	3人	18人

前回の改善計画
・運営推進会議や地域密着委員会などを活用し事業所だけでなく地域と協力して行事を開催して行く。 今後、金比羅地区にて徘徊模擬訓練を開催予定の為、自治会と一緒に取り組んで行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議や地域密着委員会を通じ地域の方との交流及び情報交換を行っている。 金比羅地区にて徘徊模擬訓練を開催する為、打ち合わせが行われていたがコロナウイルス感染予防のため 開催できなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3人	6人	7人	2人	18人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	11人	5人	2人		18人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4人	14人			18人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4人	12人	2人		18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②、④については利用者や利用者家族のニーズに応じ臨機応変に対応している。送迎時間や利用日の変更など利用者の状態に合わせて都度変更を行っている。又、家族と連携し緊急時の宿泊や受診介助等にも柔軟に対応をしている。 ③については日々利用者を観察し些細な変化や気づきも毎日のミーティングや職員会議で意見交換し、情報共有をしている。毎日1名利用者を決めフットケア・ハンドケアを個別に行い身体・精神状態を把握すると共にリラックスした雰囲気でコミュニケーションを取っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウイルスの影響で徘徊模擬訓練や例年行われている行事が中止となり（西部地区文化祭や施設主催の勉強会等） イベントへの参加、地域の方との交流が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域住民と顔を会わせる機会がある時は、挨拶をするなど些細な事から今できる事を行い関係性を築いて行く様努力をして行く。 コロナウイルスが落ち着き様々な規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
６．　連携・協働	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4人	9人	3人	2人	18人

前回の改善計画

・今後も地域であるイベントには参加し交流を図って行く。施設でのイベントも運営推進会議や地域密着委員会、回覧板を活用し参加を呼びかけ交流を深めて行く。
・行事やレクリエーションなど日々の活動を通して金比羅宮で四季を楽しむなど(桜や銀杏の観賞等)地域資源の活用をし関わりを深める努力をして行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

・運営推進会議や地域密着委員会を活用し情報交換及び連携を図っている。昨年は向山小の門松作りに参加し町づくり協議会や子供達と交流をする事が出来た。
・季節での行事(初詣や花見)、レクリエーションにて近辺へ出かけたり四季を楽しむなど地域資源の活用に努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2人	10人	4人	2人	18人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4人	7人	4人	3人	18人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2人	7人	5人	4人	18人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	6人	7人	4人	18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①についてはケアマネジャーや看護職員が主体となり対応し、その都度得た情報は毎日のミーティングや職員会議にて情報共有を行っている。
②については運営推進会議を通じ地域包括センターだけでなく地域住民や自治会、利用者家族と意見交換をしている。
③、④については館内で開催したバザーや町づくり協議会主催の門松作りに参加し地域住民と交流する事が出来ている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・コロナウイルスの影響で毎年行っている行事(勉強会・海峡花火大会での多目的ホールの開放等)が開催できず交流の機会が減っている。
外部の方の館内への出入りも規制されており、地域住民が訪れる機会も少なくなっている。

次回までの具体的な改善計画　(200字以内)

・地域住民と顔を会わせる機会がある時は、挨拶をするなど些細な事から今できる事を行い関係性を築いて行く様努力をして行く。
コロナウイルスが落ち着き様々な規制緩和がなされた時は、地域でのイベントに参加し交流を深めて行く。
今後も行事やレクリエーションにて地域資源の把握・活用を行い顔の見える関係づくりをして行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
７．　運営	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	11人	4人		18人

前回の改善計画
・継続し施設行事や毎週1回の清掃活動などを通して地域の方へフロイデ金比羅をアピールし顔の見える関係づくりをして行く。今後、金比羅地区にて徘徊模擬訓練を開催予定の為、地域の方と交流を深め信頼関係を築いて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
・施設で開催したバザーなど地域住民の参加があり交流する事が出来た。継続し毎週月曜日に施設周辺の清掃活動も行い地域の美化に努めている。(現在はコロナウイルス感染予防の為中止している) 金比羅地区にて徘徊模擬訓練を開催する為、打ち合わせが行われていたがコロナウイルス感染予防のため開催できなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2人	13人	2人	1人	18人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	14人	2人		18人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	12人	4人		18人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	9人	8人		18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については日々のミーティングや職員会議等、意見交換ができる場が多く問題点や気づきなど都度全職員で話し合い対応に活かしている。 ②、③については管理者へ報告し対応をしている。毎日のミーティングや職員会議・運営推進会議を通し利用者や利用者家族の意見、地域の方からの意見などを検討し反映する機会を持てている。 又、その都度職員間で情報共有も行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウイルスの影響で毎年行っている行事(勉強会・海峡花火大会での多目的ホールの開放等)が開催できず交流の機会が減っている。 地域で開催される行事も中止となり参加が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域住民と顔を会わせる機会がある時は、挨拶をするなど些細な事から今できる事を行い関係性を築いて行く様努力をして行く。 コロナウイルスが落ち着き様々な規制緩和がなされた時は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	7人	4人	4人	18人

前回の改善計画

・研修の案内がきたら管理者が声掛けし参加を促して行く。参加の意思のある職員は早めに管理者へ申し出勤務の調整をして行く。
継続し、研修に参加した職員は研修内容を勉強会などで他職員へフィードバックしスキルアップの意識を高めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修　1名　　・ケアマネジャー更新研修　1名
・職員教育指導者研修　1名　　その他　認知症の研修などに参加ができている。
参加した研修内容は文章化し他職員へ回覧にて伝達研修を行う事でフィードバックしている。但し、研修内容を勉強会として伝達するに至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4人	9人	1人	4人	18人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	6人	7人	3人	18人
③	地域連絡会に参加していますか	2人	8人	2人	6人	18人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	3人	10人	2人	3人	18人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①については継続し毎月職員会議後に勉強会を実施している。職員が講師となり現場ですぐに実践できるテーマを中心に時にはデモンストレーションも交えスキルアップに繋げている。
②については管理者からの声掛けもあり参加できている。参加がしやすい体制が整っている。
④については日々の関わりから各利用者に対してのリスクについて職員会議やミーティングにて話し合い対応に活かしている。対応した事での変化も記録し情報の共有を行っている。起こってしまった事柄に対しても都度対応の仕方を検討し改善に取り組んでいる。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・コロナウイルスの影響もあり外部研修への参加が出来ていない。
・文章での伝達研修を行い、他職員へのフィードバックは出来ているがスキルアップ意識の向上には至っていない。
研修内容を基にする勉強会の時間がなかなか取れない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・コロナウイルスの影響で外部研修などに参加する事が困難な為(開催地や研修自体が中止等)
毎年新年度に立てている個人個人の年間研修計画をもとに自己学習をしていく。
学んだ事を業務で活かすと共に、毎月の勉強会にも取り入れケアの向上に繋げて行く。
又、研修に参加した職員は後日実施している勉強会で研修内容を報告する場を設けて行く。学習内容から具体的に現場で活かせる事を掲げ、それを職員で取り組む事によってスキルアップ及び意識の向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2020年　8月　28日（　18：　00～　19：　00）
９．　人権・プライバシー	メンバー	・中堀詔子・岩崎良子・野村恵美・境あけみ・宮野洋美・真子加寿恵 ・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏・竹野下舞・高英淑・水口眞由美 ・中島佳和・林拓弥・新井久美・中井ミエ子・亀田優紀・鹿子島みなみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6人	12人			18人

前回の改善計画
・継続し各利用者との日々の関わり方について毎日のミーティングや職員会議・勉強会を通して全職員で振り返り理解を深め、その都度皆で対応の仕方を検討し改善できる様にして行く。 言葉使いにおいてはその場その場で職員が互いに注意しあって行く。
前回の改善計画に対する取組み結果
・毎日のミーティングや職員会議にて都度利用者への関わり方について話し合い対応に繋げている。 言葉使いにおいてもその都度職員間で声掛けをしあい注意をしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12人	6人			18人
②	虐待は行われていない	15人	3人			18人
③	プライバシーが守られている	9人	9人			18人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8人	9人	1人		18人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8人	10人			18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①、②については定期的に勉強会のテーマに取り上げ日々の対応が虐待や身体拘束にあたらないか、関わり方についても職員間で統一がされているか再確認を行っている。又、一人での対応が困難なケースでは職員同士が連携しチームワークを取ることで虐待などに繋がらないようにしている。 ⑤については個人情報が外部の方の目に入らないよう、パーテーションを活用したり書類の置き方にも注意 ⑤については個人情報が外部の方の目に入らないよう、パーテーションを活用したり書類の置き方にも注意を払っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・業務に追われ一人一人に余裕がなく、平常心での声掛けが出来ず言葉かけがきつくなってしまう事がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・日頃から職員同士で声掛けしあい連携を図り、業務を一人で抱え込まないようにする。協力体制を築く事で心にゆとりを持ち対応できるようにして行く。 今後も利用者への関わり方や言葉かけについて日々振り返り、対応の仕方を全職員で考える様にする。	